

平成30年度 第2回鎌ヶ谷市学校給食センター運営委員会会議録

開催日時 平成31年2月7日(木)午後2時00分～

開催場所 学校給食センター2階多目的会議室

出席者

- (1) 委員：石黒茂委員長、島田伸副委員長、横井隆子委員、豊田寛史委員、山口敦子委員、齊木紀枝委員、引田満委員、豊島美千子委員、
- (2) 事務局：関根延年課長、垣岡俊男給食管理室長、米井幸男補佐、後野真弥主査、石関直人栄養職員

欠席者 郷右近初女委員、久保真寿美委員、高橋正彰委員、山口夏子委員

傍聴者 なし

1 開 会

2 議 題

会議録署名人の選出について

会議録署名人を豊田委員、山口(敦)委員に指名(名簿順)

(1) 平成30年度学校給食センターの運営状況について

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

豊島員長：残食率の軽減は、食育や献立などの努力の成果か。

事務局：アンケート調査をしているわけではないので、要因はわからないが、センターで子どもたちに興味を持ってもらえるような取組を行う際に、学校でもその取組について周知していただくなど、協力をしてもらっている。その効果は大きいと感じている。

石黒委員長：学校でもイベント給食の日は、楽しみにしている声があがる。目線を変えていただけのだけで、興味を持って食べるので、ありがたい。

(2) 平成30年度第1・2・3四半期PFI事業モニタリングについて

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>質疑無し

(3) 平成31年度学校給食献立等年間計画について

事務局より資料に沿って説明

<質疑等> 質疑無し

(4) 食物アレルギー対応について

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

引田委員 : 学校給食センター運営委員を引き受けて5年となる。小麦の除去食開始は、待望であったので、大変喜ばしい。食物アレルギー表示義務7品目すべてに対応する除去食は、進んでいると思う。全国的に見てもめずらしいのではないか。2種類の除去食だけで7品目除去を提供できるのは、上手な組合せだと思う。

(5) その他

①学校給食にかかる残滓処理について

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

豊島委員 : 残滓処理について、適正に処理しているのか。

事務局 : 調査なども実施し、適正に処理をしていることを確認している。今後も引き続き、適正に処理できるよう、業者に指導していく。

②学校給食費徴収方法の変更について

事務局より資料に沿って説明

<質疑等>

豊島委員 : 口座の選択肢が増えたことで、給食費を滞納せずに支払いが増えるのか。

事務局 : 現在は千葉銀行に限定しているため、他の銀行に変えたいとの問合せも多い。徴収方法の変更は保護者の利便性が向上すると考えている。

4 閉 会

【会議終了】

以上会議の経過を記載し、相違ないことを証する。

平成31年 3月 7日

署名人 豊田 寛史

署名人 山口 敦子